



学校だよりNO 5

令和3年4月30日

児童数 464人

薫っ子



文責 校長 古川 次男

コロナ禍の5連休 読書で充実した時間を

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染に気を付けなくてはならない連休となっていました。まとまった休みの取れるゴールデンウィークは、家族の交流を図るための旅行などのお出かけに最適の時期なのですが、ワクチン接種があまり進んでいないという状況では、それもかきません。

28日(水)の新聞には、「県民の皆さまへのお願い」として、以下の4点が示されていました。(一部抜粋)

- ① 「緊急事態宣言」が発令された地域や「まん延防止等重点措置」が適用された地域などの感染拡大地域との旅行や帰省等の不要不急の往来の自粛
- ② 帰省・旅行、不特定多数が集まる場に行くことや、こうした地域からの帰省等については慎重に検討
- ③ 帰省までの間、感染リスクが高い場所に行くことを控え、大人数の会食を控えるなど、高齢者への感染につながらないように注意
- ④ 感染防止が徹底されていない接待を伴う飲食店や酒類を提供する飲食店等の利用、大人数での飲食を控え、家族や少人数で「感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫」の徹底

また、「施設管理者・事業者の皆さまへのお願い」として、3点示されていました。新聞紙1面を使っての県からのお願いです。改めて、感染拡大防止に、一人一人が心がけなければと思いました。

上記はもちろんのこと、うがい・手洗い、手指の消毒、マスクの着用に検温等、身についた習慣を徹底させていくことも大切であると感じています。

4月23日から5月12日まで、右のポスターにあるように「こどもの読書週間」となっています。ちょうど、この5連休もその期間にはいっています。

薫小学校の図書室は、毎日、本を借りる子どもたちでにぎわっています。読書は、「頭」にも「心」にも、とてもよいものです。間接体験ではありますが、知識を豊かにしたり、想像力を広げたり・・・。

お子様と本屋さんでお気に入りの本を探してみる、家庭にある本をもう一度読み返してみる、子どもと同じ本を読んで感想を話し合う等、様々な読書活動をするチャンスです。

昨年度、県で実施した読書に関する調査では、コロナ禍の影響か読書量が増えているそうです。まとまった時間のあるこの5連休、読書で充実した時間をお過ごしください。

